

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価 予算]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	07	0401	新渡戸記念館企画展示事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
新渡戸氏の顕彰

《事業開始の背景》
花巻新渡戸記念館建設の目的は、新渡戸氏の花巻での活躍を市民に顕彰することであることから、常設展示のほか、期間を区切って特別展を企画展示することにより、より詳しい新渡戸氏の内容を市民や来館者に提供しようとするものである。

《事業概要》
○企画展示
・特別展1 新渡戸稲造没後80年記念の「及川巖色紙展」を開催。
・特別展2 最後まで花巻の地で御給人として勤め上げた花巻系新渡戸本家第4分家の「新渡戸英一家文書」を紹介。
・特別展3 「花巻の春～桃の節句」展 花巻人形、つるし雛、芥子雛等展
・共同企画展 花巻新渡戸家に関わりの深い多才の先人「松岡円平」を取り上げ、その人物と周辺の人物を紹介。
○各種イベント 移動研修や出前講座のほか、開館記念日行事に「新渡戸フェスティバル」を開催。さらに地元の方々による「郷土芸能が語る新渡戸氏」を開催。

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 入館者数	人	目標	25,900	26,100	25,000
		実績	20,186	16,415	
② 生涯学習に利用した小中学校数/市内小中学校数	%	目標	20.0	25.0	25.0
		実績	20.0	20.0	
③	人	目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	生涯学習部	花巻新渡戸記念館	小原 弘道	31-2120

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	999				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	999			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

●展示事業
 特別展1 及川巖色紙展 (H25.4月17日～ 8月) (事業費 328千円)
 特別展2 新渡戸氏と偉人群像「新渡戸英一展」 (H25.8月～ 11月) (事業費 150千円)
 特別展3 花巻の春～桃の節句 (H26.2月～ 4月) (事業費 80千円)

●教育普及事業
 「花巻新渡戸記念館移動研修事業」 (H25.6月) (事業費 0千円)
 開館記念日行事「新渡戸フェスティバル」 (H25.10月) (事業費 60千円)
 「特別公演」 郷土芸能が語る新渡戸氏 (H25.5月3日) (事業費 20千円)

新渡戸記念館企画展示事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価 予算]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	07	0401	新渡戸記念館企画展示事業

総合計画	政策 4	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策 4-4	創造性豊かな芸術文化の振興
目的	新渡戸氏の顕彰			
対象	市民、観光客			
意図	市民が地域の歴史や先人の業績に触れて郷土への愛着や誇りを抱くように、国際人・新渡戸稲造にも大きな影響を与えた花巻の先達・新渡戸家の顕彰を行う。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○企画展示
 ・特別展1 新渡戸稲造没後80年記念の「及川巖紙展」を開催。
 ・特別展2 最後まで花巻の地で御給人として勤め上げた花巻系新渡戸本家第4分家の「新渡戸英一家文書」を紹介。
 ・特別展3 「花巻の春～桃の節句」展 花巻人形、つるし雛、芥子雛等展
 ・共同企画展 花巻新渡戸家を関わりの深い多才の先人「松岡円平」を取り上げ、その人物と周辺の人物を紹介。
 ○各種イベント 移動研修や出前講座のほか、開館記念日行事に「新渡戸フェスティバル」を開催。さらに地元の方々による「郷土芸能が語る新渡戸氏」を開催。

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 行事開催数	回	計画	12	10	10
		実績	10	10	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 入館者数	人	目標	25,900	26,100	26,100
		実績	20,186	16,415	
② 生涯学習に利用した小中学校数／市内小中学校数	%	目標	20	25	25
		実績	20	20	
③	人	目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

東日本大震災の復興キャンペーンや平泉世界遺産登録の効果がひと段落してきた。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
 来館者は、展示内容及び施設環境に対しては概ね肯定的な意見がある。一方、当記念館並びに稲造の生涯・業績については知らない人が多く、もっとPRすべきとの声が寄せられている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	新渡戸氏の顕彰と、新渡戸氏に関わる様々な先人の業績を紹介することは、市民が郷土の成り立ちや歴史に触れて地元に対する愛着や誇りを醸成することにつながることも、また県内外からの観光客に対しても本市をPRすることにもなり、市の業務とするのが妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	開館してから20年以上経過しているが、県内外はもとより市民の間においても未だ十分に知られていない面もあり、展示内容や他館との連携、周知の工夫などにより、向上する余地はあると思われる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	正職員は1名のみであり、館長と学芸員は非常勤という3名体制である。このような体制ながら休館日は年末年始のみで運営しており、これ以上の削減は困難である。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	入館者からは入館料を徴収しており、対象は市民全員であり、かつ近隣、遠方からの観光客も同一料金であることから公平である。

《総合評価》…上記評価結果の総括
 本市の成り立ちや発展に大いに尽くした先人は、教科書では学ぶことができないものであり、その業績を紹介することは極めて重要なことである。
 当館で実施しているアンケートによると、知名度はないものの、見学した結果肯定的に評価していただく結果となっている。一方、市内でも未だ一度も見学したことがないという人も見受けられるため、特別展を工夫するなどして、市民（特に小・中学校）に継続してアピールしていく必要がある。
 また、東日本大震災からの復興キャンペーンや平泉世界遺産登録の影響が薄れてきていることから引き続き、県内外の各方面へのPRに努める必要がある。